

日時:2022年 **4月15日(金)** 7:45~8:45
会場:第3会場(大阪国際会議場 10階 1001-1002)

オンデマンド配信期間

2022年**4月28日(木)**~**5月27日(金)**

※聴講には本学会への参加登録が必要です。

※配信期間中はいつでも聴講可能です。

※詳細は第126回日本眼科学会総会のホームページをご確認ください。

主流出路を覗いてみよう!

~集まれ、若手研究者!~



座長:

熊本大学大学院 生命科学研究部 眼科学講座 教授

井上 俊洋 先生

講演1

筑波大学医学医療系 眼科 講師 **上野 勇太** 先生

『主流出路を光学的に覗いてみよう!』

~前眼部偏光OCTで見えるもの~』



講演2

札幌医科大学 医学部 眼科学講座 講師 **渡部 恵** 先生

『主流出路の3次元構造を細胞レベルで覗いてみよう!』

~線維柱帯細胞3次元培養システムから見てきたもの~』

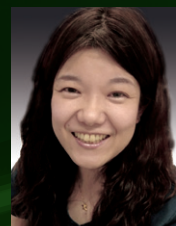


講演3

熊本大学大学院 生命科学研究部 眼科学講座 准教授 **高橋 枝里** 先生

『主流出路の細胞間コミュニケーションを覗いてみよう!』

~エクソソームの役割~』



座長の言葉

房水の主流出路はヒトの房水流出量の多くを担当し、緑内障病態との関わりが深いことは論を俟たない。よって、古くから多くの研究者が主流出路の構造と機能の研究に取り組み、切片を観察した病理学的な検討や、摘出眼を用いた生理学的な実験によって解明された主流出路の知見が緑内障診療の進歩に大きく貢献してきた。近年、ROCK阻害薬の臨床応用や、線維柱帯切開術眼内法を始めとする流出路再建術の広がりを契機に、主流出路の注目度はさらに高まっており、光学機器や分子生物学的手法の進歩に伴って新たな発見が続いている。本セミナーは、その研究現場の第一線にいる医師を演者としてお迎えし、血湧き肉躍る研究の世界へ皆様をお連れしたい。現在、緑内障研究に取り組んでいる研究者はもちろんのこと、臨床を始めたばかりの若手も、研究の第一線からは遠ざかってしまったベテランも、ぜひその興奮を共有していただきたい。